

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【公開番号】特開2003-344397(P2003-344397A)

【公開日】平成15年12月3日(2003.12.3)

【出願番号】特願2003-72893(P2003-72893)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/53

G 0 1 N 33/483

G 0 1 N 33/543

G 0 1 N 33/577

G 0 1 N 33/72

【F I】

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/483 C

G 0 1 N 33/543 5 2 1

G 0 1 N 33/577 B

G 0 1 N 33/72 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月28日(2005.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 タンパク質抗原を測定する免疫学的測定方法であって、

第1抗体と、上記第1抗体が特異的に結合可能なエピトープを内部に有するタンパク質抗原とを用意する工程(a)と、

上記タンパク質抗原のうちの上記エピトープを除く少なくとも一部に結合するIgMタイプの抗体である第2抗体を上記タンパク質抗原に接触させることによって、上記タンパク質抗原の上記エピトープを露出させる工程(b)と、

上記工程(b)の後に、上記第1抗体を上記タンパク質抗原に接触させる工程(c)と

、  
を含む免疫学的測定方法。

【請求項2】 請求項1に記載の免疫学的測定方法において、  
上記第2抗体は、モノクローナル抗体である免疫学的測定方法。

【請求項3】 請求項1に記載の免疫学的測定方法において、  
上記第1抗体は、固体支持体に固定化されている免疫学的測定方法。

【請求項4】 請求項3に記載の免疫学的測定方法において、  
上記固体支持体は、マイクロタイタープレートである免疫学的測定方法。

【請求項5】 請求項3に記載の免疫学的測定方法において、  
上記固体支持体は、試験片である免疫学的測定方法。

【請求項6】 請求項1に記載の免疫学的測定方法において、  
上記タンパク質抗原は、ヘモグロビンA1cである免疫学的測定方法。

【請求項7】 タンパク質抗原の免疫学的測定に用いられる試験片であって、  
基材と、

上記基材上に設けられ、タンパク質抗原の内部に位置するエピトープに特異的に結合可

能な第1抗体が固定された抗体固定部と、

上記基材上において上記抗体固定部から離間して設けられた試料滴下領域と、

上記基材上において上記抗体固定部と試料滴下領域との間に位置し、且つ上記抗体固定部から離間して設けられ、上記タンパク質抗原のうちの上記エピトープを除く少なくとも一部に結合するIgMタイプの抗体である第2抗体が含浸された衝撃付与部、

を備える試験片。

【請求項8】 基材と、試料滴下領域と、上記基材上において上記試料滴下領域から離間して設けられ、タンパク質抗原の内部に位置するエピトープに特異的に結合可能な第1抗体が固定された抗体固定部と、上記基材上において上記抗体固定部と試料滴下領域との間に位置し、且つ上記抗体固定部から離間して設けられ、上記タンパク質抗原のうちの上記エピトープを除く少なくとも一部に結合するIgMタイプの抗体である第2抗体が含浸された衝撃付与部とを備える試験片が導入される免疫学的測定装置であって、

上記試料滴下領域に試料を滴下する試料滴下部と、

上記抗体固定部を光学的に測定する光学的測定部とを備える免疫学的測定装置。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

#### 【課題を解決するための手段】

本発明の免疫学的測定方法は、タンパク質抗原を測定する免疫学的測定方法であって、第1抗体と、上記第1抗体が特異的に結合可能なエピトープを内部に有するタンパク質抗原とを用意する工程(a)と、上記タンパク質抗原のうちの上記エピトープを除く少なくとも一部に結合するIgMタイプの抗体である第2抗体を上記タンパク質抗原に接觸させることによって、上記タンパク質抗原の上記エピトープを露出させる工程(b)と、上記工程(b)の後に、上記第1抗体を上記タンパク質抗原に接觸させる工程(c)とを含む。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の試験片は、タンパク質抗原の免疫学的測定に用いられる試験片であって、基材と、上記基材上に設けられ、タンパク質抗原の内部に位置するエピトープに特異的に結合可能な第1抗体が固定された抗体固定部と、上記基材上において上記抗体固定部から離間して設けられた試料滴下領域と、上記基材上において上記抗体固定部と試料滴下領域との間に位置し、且つ上記抗体固定部から離間して設けられ、上記タンパク質抗原のうちの上記エピトープを除く少なくとも一部に結合するIgMタイプの抗体である第2抗体が含浸された衝撃付与部とを備える。

#### 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明の別の免疫学的測定装置は、基材と、試料滴下領域と、上記基材上において上記試料滴下領域から離間して設けられ、タンパク質抗原の内部に位置するエピトープに特異的に結合可能な第1抗体が固定された抗体固定部と、上記基材上において上記抗体固定部

と試料滴下領域との間に位置し、且つ上記抗体固定部から離間して設けられ、上記タンパク質抗原のうちの上記エピトープを除く少なくとも一部に結合する IgM タイプの抗体である第 2 抗体が含浸された衝撃付与部とを備える試験片が導入される免疫学的測定装置であって、上記試料滴下領域に試料を滴下する試料滴下部と、上記抗体固定部を光学的に測定する光学的測定部とを備える免疫学的測定装置。